

2013年度第4回理事会開催される

1月16日、第4回理事会が中村理事（北大生協専務理事）の議事進行で開催されました。確認されました報告事項は①一般活動経過報告②2013年度上期決算報告③2013年度上期監事監査報告④事業提携推進委員会報告⑤日本生協連、北海道・東北地連報告⑥日本生協連北海道支所実績・活動報告⑦友好団体、協賛・後援・お知らせ他⑧北海道他からの通知他について報告がなされました。

議決事項は①2014年度業務委託契約更新の件②次回理事会運営の件で、両議案共に提案通り議決されました。

審議事項として①今冬灯油問題対策方針推進について②道連活動見直し委員会答申を受けて③2014年度年間スケジュールの件④2013年度活動のまとめと

2014年度活動計画（素案骨子）が提案されました。

審議の結果、「道連活動見直し委員会答申を受けて」と「2013年度活動のまとめと2014年度活動計画（素案骨子）」については、3月末までに理事からの意見を集約しながら5月理事会で議決いただくことが確認されました。

また、理事会終了北海道生協虹友会会長（元道生協連専務）の重原祐治氏を講師にお招きし「北海道生協連の歴史」についての学習会が開かれ、道生協連の歴史について大いに学ぶことが出来ました。



道生協連前会長理事 高柳裕氏

拡大役員新年会に32名が参加

1月16日 KKR ホテル札幌におきまして、拡大役員新年会が、開催され17団体32名の方々の参加がありました。

会は、田中特定監事の開会挨拶で始まり、麻田会長理事の挨拶のあと、高柳前会長理事の秋の叙勲をお祝いしての記念品贈呈がありました。

その後、ご来賓の挨拶と会員生協より新年度の抱負報告のスピーチが全参加者より行われ、和やかで有意義な懇談の時間を過ごすことが出来ました。ご参加ありがとうございました。

学習会 「北海道生協連の歴史」

1月16日、理事会終了後、学習会が開催されました。北海道生協連元専務の重原祐治氏から「北海道生協連の歴史を振り返るー私が生協にいた2002年まで」というテーマで、以下のように、歴史と展望を語っていただきました。



道生協連元専務 重原祐治氏

北海道の生協の歴史は、炭鉱生協を中心とする職域生協の発展と衰退、そしてその財産を引き継ぐ形で登場した市民生協群の興隆と挫折・再建と、購買生協を主軸に展開されて

きた。今後どの様な方向に行くにせよ、これまで購買生協を中心に形成されてきた道生協連の活動を、まずは地域における異業種生協ネットワーク形成に傾注していくべきで、協同組合の基本的価値としてマルコスが第一に掲げた「参加」という問題に、再び新しい視点から挑戦していくべきと考える。購買生協（そして労働組合運動）が開拓した膨大な「組合員」という財産を、購買生協も、各種生協も、すべての生協にとっての共通項である「福祉」という視点から、再び組織しなおすことが必要であり、可能であろう。協同組合の第一価値たる「参加」を、かつて主体者として結集した組合員を再結集する、それを実現していく道筋を示すのが、まさに連合会の任務なのではないかと夢想する。その上にとって、農協や漁協など他の協同組合との連携が築けるなら、協同組合王国北海道を実現させていくことができるのではないかと。

～灯油問題要請・懇談行動報告～

12月10日開催されました、灯油問題対策委員会で確認されました、「2013年度灯油問題対策方針」に基づいて、灯油問題要請・懇談行動が延べ33名の参加で行われましたので報告いたします。

要請・懇談行動を下記の日程で実施しました。

①1月9日石油連盟②1月10日出光石油③1月10日JX④1月17日経産局⑤1月17日札幌市⑥1月20日石油商業組合⑦1月21日北海道。

お伝えした主な現状認識は、①灯油の生活における位置づけと灯油価格高騰の暮らしに与える影響について②納得いかない、灯油価格と灯油価格決定システム③不安な、安定供給体制と緊急時体制④公正取引委員会とエネルギー庁の新たな動きについてお話をしました。

また、行政各機関への要請項目としては①灯油価格が適正な価格に是正され維持されるようにご指導ください。②安心できる灯油の量確保と安定供給をご指導ください。

③福祉灯油の実施にむけて、周知徹底を図ると共に、実態を把握し公開してください。④公衆浴場料金の燃料費調整の導入や経営支援の検討を進めてください。について要請しました。

石油連盟・石油元売り各社・石油商業組合さんとは、特に「安定供給体制と緊急時体制」について意見交換を深め、雪が解けたところ共同で検討し行政への要望を一緒に提出することについて、検討しようとお話となりました。以上ご報告いたします。



札幌市に要請書を渡す

さっぽろ高齢者生協 「まる元運動教室」への取組み

「まる元」は地域まるごと元気アッププログラムの略称。コープさっぽろ・小樽商科大学・北翔大学・NPOソーシャルビジネス推進センターが協力して、健康運動指導士による運動教室を提供するプロジェクトです。対象は、立ち座りに時間がかかるようになり、歩くことがつらくなってきた高齢者。北海道生協連の川原事務局長より、住宅型有料老人ホームであるイリス北8条に「まる元」参加のお誘いをいただきました。高齢者にとっての幸福の第一歩は、心身ともに健康で生涯自立した生活を送ること。そのためのお手伝いをしたいと考えていた我ホームは、昨年10月からこの運動教室をスタート。週1回の運動をすることにより、3か月後の体力測定で多くの項目に維持または向上がみられました。「まる元」の素晴らしい点は、体力面だけでなく、遊び心と楽しい会話を大切にしているところ。入居者は、笑ったり冗談を言い合ったりし

ながら、体力向上に意欲を燃やしています。継続してデータを測定し、「まる元」の効用を実証していきたいと思っています。



▲ボール投げポイント競争
◀さあ、膝を上げて〜!

フォーラムのお知らせ

私たちが不幸にする世界の食糧システム～つくられた肥満と飢餓

世界に広がる食糧システムの現状と問題点を見つめながら、私たちの食のあり方を再考します。

日時 2014年2月15日(土)13:45～16:45

会場 札幌エルプラザ3Fホール(札幌市北区北8条西3丁目)

参加費 500円

内容 第1部 講演 佐久間 智子氏(アジア太平洋資料センター 理事)
第2部 対談 佐久間 智子氏&内田 聖子氏(アジア太平洋資料センター 事務局長)

主催 NPO法人 さっぽろ自由学校「遊」、NPO法人 北海道食の自給ネットワーク、TPPを考える市民の会

問合せ先 NPO法人 さっぽろ自由学校「遊」(小泉・滝口)

TEL.011-252-6752 FAX.011-252-6751 syu@sapporoyu.org